

平成25年行政事業レビューシート

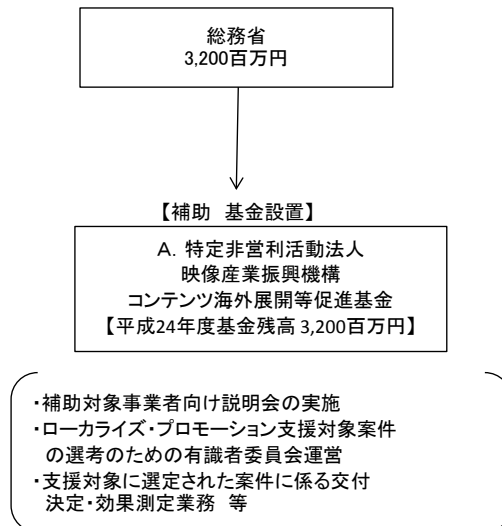
(総務省)

事業名	コンテンツ海外展開促進事業		担当部局	情報流通行政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成26年度		担当課室	情報通信作品振興課		課長 湯本 博信	
会計区分	一般会計		施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第65号		関係する計画、通知等	・「日本経済再生に向けた緊急経済対策」(平成25年1月11日閣議決定) ・「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定) ・「知的財産推進計画2013」(平成25年6月25日知的財産戦略本部決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	経済不況等で伸び悩むコンテンツの海外展開を促進するとともに、コンテンツの海外発信を通じて我が国の国際的プレゼンスの向上や海外における日本製品・サービスの販売拡大等を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①ローカライズ支援 経済産業省と共同で、公募により選定する法人を通じ、映像コンテンツに対する現地語字幕の付与・吹き替え等(ローカライズ)に対して、1/2補助を実施する。 対象者:民間企業 ②国際共同製作支援 日本の放送局等と海外の放送局が連携してコンテンツを製作・発信する取り組みを促進するため、海外の放送局とのマッチングを支援し、その効果や課題を検証する。 対象者:民間企業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	4,704	0	-
		繰越し等	-	-	-1,504	1,504	-
		計	-	-	3,200	1,504	-
	執行額	-	-	3,200	-	-	
	執行率(%)	-	-	100%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	①ローカライズ支援 指標:本施策のローカライズ支援を受けたコンテンツの量(時間)	成果実績		-	-	-	3,120時間分
		達成度	%	-	-	-	-
	②国際共同製作支援 指標:請負主体によって選定された事業企画数の増加による海外展開の強化。	成果実績		-	-	-	40件
		達成度	%	-	-	-	-
	活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度
①ローカライズ支援 指標:補助事業者への交付決定額		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	32億円
			()	-	-	-	-
②国際共同製作支援 指標:請負主体との契約額		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	15億円
			()	-	-	-	-
-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
		0	0	平成24年度に事業終了(ローカライズ基金は26年3月まで交付受付、国際共同製作支援は25年度に繰越)			
計	0	0					

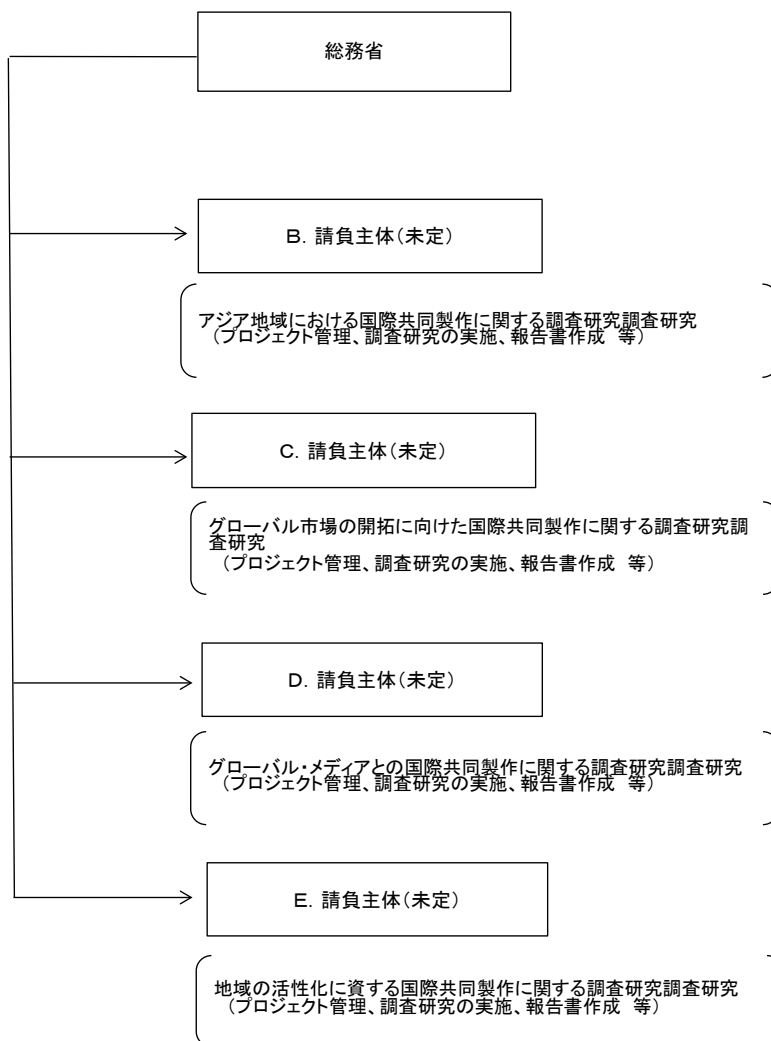
事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、クール・ジャパン戦略の一部として、日本ブーム創出に伴う関連産業の海外展開の拡大、観光等の促進につなげることを目的として、日本のコンテンツのローカライズ支援を行うとともに、海外放送事業者との放送コンテンツの国際共同製作等の支援を行うものであり、優先度が高く、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	補助金支出先の選定にあたっては、一般公募ののち、外部評価委員会により選定しており、競争性、妥当性を確保している。 請負先の選定にあたっては、一般競争入札による選定を予定しており、競争性、妥当性を確保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	ローカライズ支援については、経済産業省と共同で事業を実施している。	
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
		コンテンツ海外展開等促進事業		経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課
点検結果	本事業は放送コンテンツのローカライズ支援及び国際共同製作支援を行うことで、クール・ジャパン戦略を推進するものであり、国が実施すべき事業である。補助金支出先選定には外部委員の評価を実施、国際共同製作の請負先の選定には一般競争入札を実施しており競争性を担保している。			
外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	平成25年度をもって事業終了。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	初期の目標を達成する見込みであり、25年度をもって事業終了。			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年	—	平成23年	—	
		平成24年	—	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※平成24年度実績



※平成25年度イメージ



資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する)(単位:百万
円)

A. 特定非営利活動法人映像産業振興機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金(ローカライズ事業に対する補助)	ローカライズ事業の対する助成金、事業管理費	3,120			
補助金(事業費)	管理事務・委員会運営等	80			
計		3,200	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で表情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人映像産業 振興機構	・補助対象事業者向け説明会の実施 ・ローカライズ支援対象案件の選考のための有識者委員会運営 ・支援対象に選定された案件に係る交付決定・効果測定業務 等	3,200	補助	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					